

(様式2(1))

事業所名 CHIAKIほおずき福崎

目標達成計画

作成日: 平成 25年 8月 21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	・事業所と地域の付き合いを今後も深めていかないといけない。(社会資源の活用など)	・地域から認知される施設、また、必要とされる施設作りを目標とします。	・運営推進会議に区長への参加を呼びかけ、出席して頂き情報交換をしていく。また、その中で何か地域に参加できる催し物や行事、清掃活動など地域にこちらから出向いていく活動をしていきます。 ・年6回から年2回となった運営推進会議ですが、その後に開催していましたふれあい喫茶は、そのまま継続し年6回の開催をしていきます。	12ヶ月
2	26・27	・個別の記録と実践への反映の結びつきを職員の理解と共に深めていかないといけない。	・全職員がケアプランの意識向上が出来き、また気付きのある記録の残し方が出来るようになることを目標とします。	・ケアプランの理解とそれに伴った記録の残し方が出来るようになる為、勉強会の実施を行う。また、モニタリングの意識を持って記録し利用者様の日々の変化に気付けるようになる。	6ヶ月
3		・医療面や薬(副作用)に関しての知識が乏しい。	・副作用や医療的な知識も介護者として必要なことなので勉強し意識向上を目標とします。	・薬の勉強会など外部の研修の参加をしていき職場に還元できるよう自施設での勉強会も実施します。 ・また、外部の講師に依頼し勉強会の実施をして頂く。	12ヶ月
4		・明るく配慮が出来る職員指導していく。	・印象が良く明るい雰囲気と言われる施設を目標とします。	・職員一人ひとりの課題をマイチャレンジで抽出し実行できているか、その結果を毎月1回あるフロアー会議の中で発表していく。皆の前で発表する事によって目標意識が高まるようにする。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。